希望

平成23年度
8月23日(火)
大船渡市立
第一中学校
学校新聞「希望」
第10号
生徒会有志

いつかまた会いましょう。復興した大船渡で!

ありがとう肝付町!!

7月30日(土)～8月2日(火)、鹿児島県の肝付町で、東日本大震災復興支援事業、肝付町・大船渡市青少年交流会が行われました。肝付町のみなさんが、大船渡市との交流を通して相互理解や信頼関係を築いていけるようにと開いてくださった交流会です。大船渡市内の中学生20名が参加し、私たち大船渡一中からは、二年生の、宮田康矢くんと、私、高橋莉子が参加しました。とても充実した四日間になりました。

一日目は、鹿児島に移動し、『内之浦ロケット祭』に参加しました。肝付町のみなさんが、私たちのことをとても歓迎してくださってうれしかったです。二日目は、稲刈り・脱穀体験や、水ロケット作り、夜は、ホームステイ、そして三日目は町内郷土巡りや、天体観測をしました。とても貴重な体験をさせていただきました。特に稲刈り・脱穀体験は、とても暑く大変でしたが、肝付町の中学生のみなさんと一緒に楽しくできたので良かったです。また、希望新聞の第2号で紹介した、ボランティア活動をしてくださっている渡會さんや、小学生の時に銀河連邦の交流会で知り合った友達に再会することができてとてもうれしかったです。

この交流会でたくさんの人と出会い、いろいろな事を学びました。私たちは肝付町のみなさんとの思い出、そして、たくさんの方々に支えられていることを決して忘れません。

これからも私たちは大船渡の復興に向けて頑張っていきます。そしていつかまた、復興した大船渡でお会いしましょう!!ありがとうございました。(莉子)

宝塚市と一中交流会

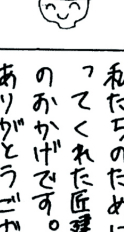
夏休み中の8月1日から4日まではサッカー部が、8月7日から10日までは男子バスケットボール部が宝塚市に交流に行きました。被災地でも分に部活ができないため、学校のためにも地域のためにも宝塚市で部活してきました。交流会では、合同練習や試合、市内観光などたくさんの活動をしました。宝塚市に行った山内先生に感想を聞いたところ、「いろいろなところから応援されていたので、その応援に恩返ししたい。」と言っていました。

私たちはたくさんの地域の人たちに支えられています。みなさんもそれに答えられるよう何事も積極的に取り組みましょう。

いただきます 肝付町の友情米

8月17日、鹿児島県肝付町より、本校に支援米200キロが届きました。このお米は肝付町の中学生が一本一本思いをこめて植えたお米です。そしてこのお米は、8月19日の給食で、焼肉丼として登場しました。二年生では、大盛りに盛ったご飯をおいしそうにほおばる人がみられました。また、ひと粒も残さない学級もありました。災害が起こった当時は、食べものを買うため、お店のレジには長い行列ができ、何時間も並んで数に制限がある少しの食べものをようやく手にしたものでした。たきだしのおにぎり一個がどれだけありがたかったか、また、学校が再開したとき、給食がうれしかったことを思いだしました。いただいたお米は、8月いっぱい給食で使われるそうです。肝付町からお米をいただいて、食べもののありがたみを、改めて実感しました。ありがとう、肝付町。そして、感謝をこめて、「いただきます。」

カンシャをこめて



いただきます!

ありがとう!! 匠建設の皆さん

二学期から渡り廊下ができ、耐震補強工事がおわりました。去年の11月からはじまり約10ケ月かかりました。大震災があり、一時は中止になる、ということもありましたが、最後までやり抜きたいという匠建設さんの強い思いのおかげで、無事工事がおわります。雨のときも暑いときも一生懸命作業しているみなさんを見て、私たちも、暑さなどに負けずにがんばろう、という気持ちになりました。

新しい渡り廊下ができ、前より学校生活が快適にすごせるようになったと思います。それに、新しい廊下を通るのがすごくうれしいです。これも大変な中、私たちのためにがんばってくれた匠建設さんのおかげです。本当にありがとうございました。